



すわっ子だより

中秋の名月

校長 川添 倫義

今年は、熊本の地震、そして先日の台風に係る千葉の豪雨と、災害が続いた夏でもありました。現地の方々はお盆休みどころではなく、復旧への取り組みにいとまなく汗をながされている様子をニュースなどで見聞します。一日も早い復旧復興を願います。

さて、夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。暑い日が続く中、子どもたちが夏休みを元気に過ごしているか、教職員みんなで気にかけていました。今朝、正門で「おはようございます」と元気なあいさつを交わし、嬉しく感じました。

2学期は、校外学習や行事が数多く予定されています。事故やケガ、感染症の防止にも努めながら、子どもたちの心に残る行事となればと計画や準備を進めてまいります。

今年は、9月25日(金)が中秋の名月です。満月は2日後の27日になります。中秋の名月をめぐる習慣は平安時代ごろからと言われています。

1学期の中頃、校長室前の廊下にあるハイビスカス系の花が咲いた時、下校の時間に数人の子どもたちがその花をいい顔をして眺めていました。その子たちに「お花がきれいだなと感じる人は心もきれいな人なんだよ。きれいだなって思う人？」と声をかけ、私を含めたみんなが「ハイ」と手を挙げて笑い合った、ということがありました。

そんな心豊かな子どもたちがいる東岩槻小の始業式で、今年も藤原顕輔が詠んだ百人一首の和歌を紹介したいと思います。「秋風に たなびく雲の たえ間より 漏れ出づる月の 影のさやけさ」その和歌の紹介のときに、「秋の月を『きれいだね』と言いながら眺められる人が、みなさんのそばにいてくれることを願っています。」とも添えながら。